

トウモロコシ二期作において最も繁忙な1作目の収穫と2作目の播種作業を分散する方法

早生品種の組合せ（試験区）と極早生品種と晩生品種の組合せ（慣行区）の栽培方法を組合せることにより，試験区または慣行区のみ作業と比較して，1作目の収穫から2作目の播種までの期間を1週間程度拡大する作業分散方法として利用できる。

品種の組合せ方法

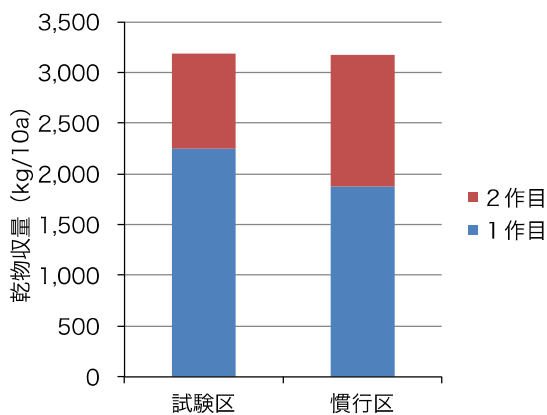
区分	1作目	2作目
試験区	P1690 (RM115)	P1690 (RM115)
慣行区	KD510 (RM100)	30D44 (RM135)

試験区では、1作目、2作目ともに早生品種を組み合わせ、慣行区では、1作目は極早生品種、2作目は晩生品種を組み合わせた

試験区と慣行区との作業の比較



1作目の収穫から2作目の播種までの期間は、試験区では8日間、慣行区では3日間であったが、試験区と慣行区の栽培方法を組合せることにより、15日間に拡大した



試験区と慣行区の1作目と2作目を合わせた年間合計の乾物収量の差はなかった

年間合計の乾物収量の比較